

50代～80代の ライフプランニング

ファイナンシャルプランニング_24
ー資産運用と老後②ー

2024.11. 28

小川FP・行政書士事務所

小川 佳宏

50代－80代～で特に重要ないくつかのことって何だろう？

- 1 今までのキャリアの棚卸をしていつまで就労するか考えていますか？
- 2 公的年金の受給方法と社会保険の壁を知っていますか？
- 3 今、入っている生命保険や医療保険を知っていますか？
- 4 住宅の購入、買い替えを検討していますか？
- 5 自分の資産運用について考えて実行していますか？
- 6 将来、できるだけ介護のお世話にならないように気を付けていますか？
- 7 相続の準備や遺言書は書いていますか？
- 8 さあ、家計や人生の棚卸をして人生100年時代を楽しく準備しましょう。

リタイアメント
ライフプランニング
(※)

※50代でリタイアメントするという意味ではなく、役職定年、定年、第二定年と就労関係のイベントがきますので、早めに意識、準備していく必要があるということです。

資産運用と老後②

最近、物価がどんどん上昇してお金の価値が目減りしてしまうのですよね。定期預金や普通預金だけでなく、資産運用も勉強しないといけませんよね。



はい、そのとおりです。お子様世代では2022年から高校の家庭科の教科書で資産運用も勉強するようになってきました。でもそれより上の世代は資産運用の勉強はしたことがない人が多いですが、折角なので勉強して投資デビューすることがよいと思います。

でも、何をどうしたらよいのかちっともわかりません。



投資は危ないというイメージがあるかもしれませんが、まずは、投資の3大基本原理の①長期、②積立、③分散を理解してください。それと私は④忍耐も提唱します。投資は投機やギャンブルではありません。

でも、投資で損をしたという話をよく聞きます。



はい、投資に絶対儲かるはありません。そういう宣伝は100%詐欺と思ってください。損もすることもあります。投資を時価で評価するのですが売却しなければ損は確定しません。また、いつか上昇していくまで待てばいいだけです。それを待てるかどうかを自分でよく理解することです。

資産運用と老後②

いついくら必要ならそれに見合った投資先を見つけるということですよ。



はい、そうです。当面使う当てのないお金は株式で長期の時間を利用するとか、少し先に使い道のあるものは、国債で元本保証+利息を狙うということもできます。今は定期預金や普通預金では増やすことは難しいですね。

投資先にはいろいろあるのですよね。経済のことがわからないのでしっかりと勉強しなきゃいけないとは思っています。

個別の運用商品は別の機会に説明をします。まずはリスクとリターンの意味をしっかりと理解します。特にリターンは利息や配当、売却益、分配金など投資して得られる儲けのことです。リスクは投資した運用商品の時価の変動（ブレ幅）のことで危ないという意味ではありません。

でも、投資で損をしている人もいますからやっぱり投資は危ないというイメージがあります。

投資を初めてやる人はそこが心理的なハードルになります。確かに元本保証商品以外、絶対安心な投資はないのも事実です。でも投資の3原則に従い愚直にやることで将来の果実を得ることができるのです。投資は短絡的にするものではありません。



本日、是非、知っていただきたいこと

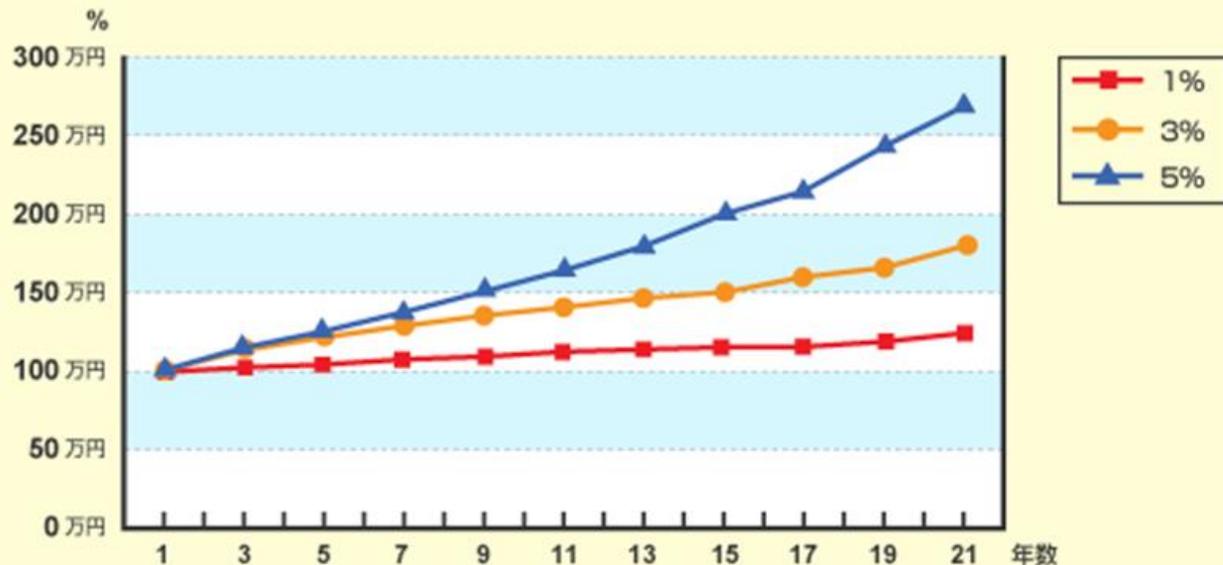
- ✓ 資産運用の原則である、長期、分散、積立＋忍耐を理解します。できていない場合、なぜできていないのかを自分で考えましょう。
- ✓ 単利と複利の違いを理解します。複利は利息に利息が雪だるまのように増えていきます。従い、途中で利息や分配、配当を引き出してはいけません。
- ✓ 運用における「リスク」は、日常生活で使用するリスクの投資は危ないという意味ではありません。運用成績のブレ幅のことを言います。特に下振れに対する許容度（解約せずに持ち続けることができること）で投資商品を決めることがよいでしょう。

資産運用の大原則って何？

長期の時間を活用するには、若い人ほど有利になります。

長期運用

100万円を0・1・3・5%の利回り（複利）で運用した場合の推移



出所：資産調達プロHP

◆時間を味方につけて確実に資産増加を図れます。特に20代、30代でこれに気が付けば将来の資産形成に大きく差をつけることができます。

◆資産の時価変動に一喜一憂してはいけません。将来の資産増加のイメージを常に持ちましょう。

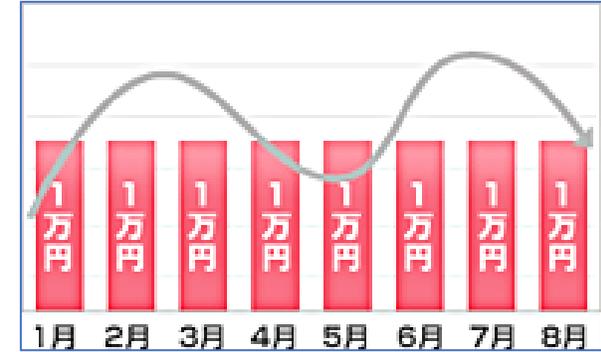
◆複利効果で資産を増やします。
例) 72の法則とは元本を3%で運用できるとすると24年で倍になります。 $72/3\%=24$ 年。
5%なら $72/5\%=14.4$ 年で倍になります。

◆資産を組み合わせて3%で運用できるよう知恵を絞ります。資産に対する継続的な情報収集をします。定期預金では絶対到達せずインフレに負けてしまいます。

資産運用の大原則って何？

一つのかごに全ての卵をいれてはいけません。一つのかごには一つの卵だけ入れます。

分散



出所：SMBC日興証券HP

地域分散

- ・先進国
- ・発展途上国
- ・欧州、米州、中国、日本、亜州等々

運用商品分散

- ・預貯金
- ・投資信託
- ・債券
- ・株式
- ・不動産REIT
- ・金 等々

通貨分散

- ・最終的には日本で生活するからには**円の手取り**を増やすことが重要。
- ・**為替のヘッジ**
- ・**為替の手数料**

時間分散

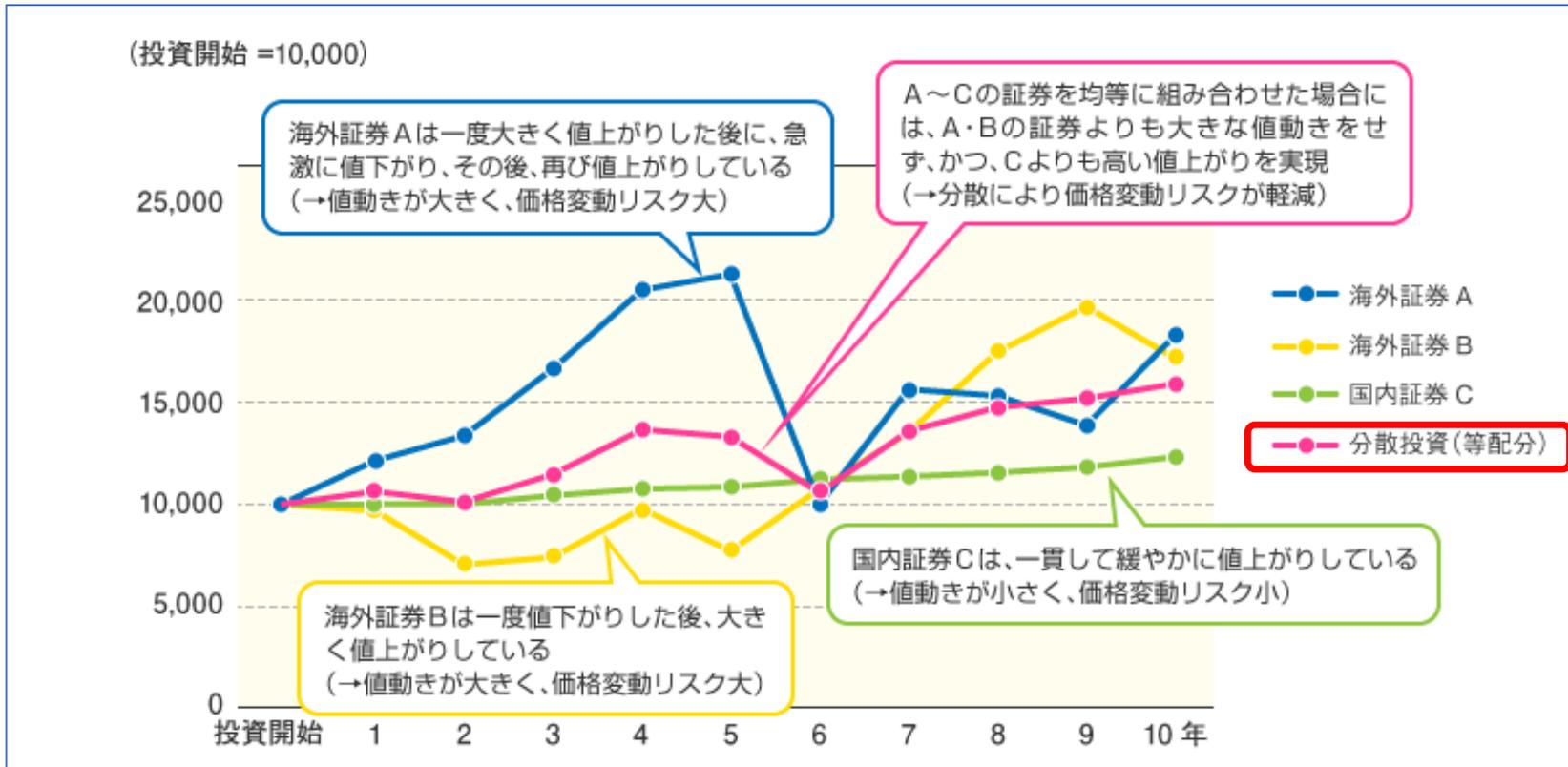
- ・毎月、一定期間で購入単価を下げる
- ・**ドルコスト平均法**
- ・安い時は多く購入、高い時は少なくなる。慣らせば価格変動のリスクを抑制する。



資産運用の大原則って何？

分散すれば結果は均されます。右肩上がりに均される運用をしましょう。

分散



出所：金融庁HP

◆いろいろな運用商品に投資して、全体として**いい時、悪い時を均して資産を増やします**。

◆10年で10,000千円が16,000千円になるとすると、**単利約5%**。

◆途中、6年目でへこんでもあきらめない。やめない意思が大切です。

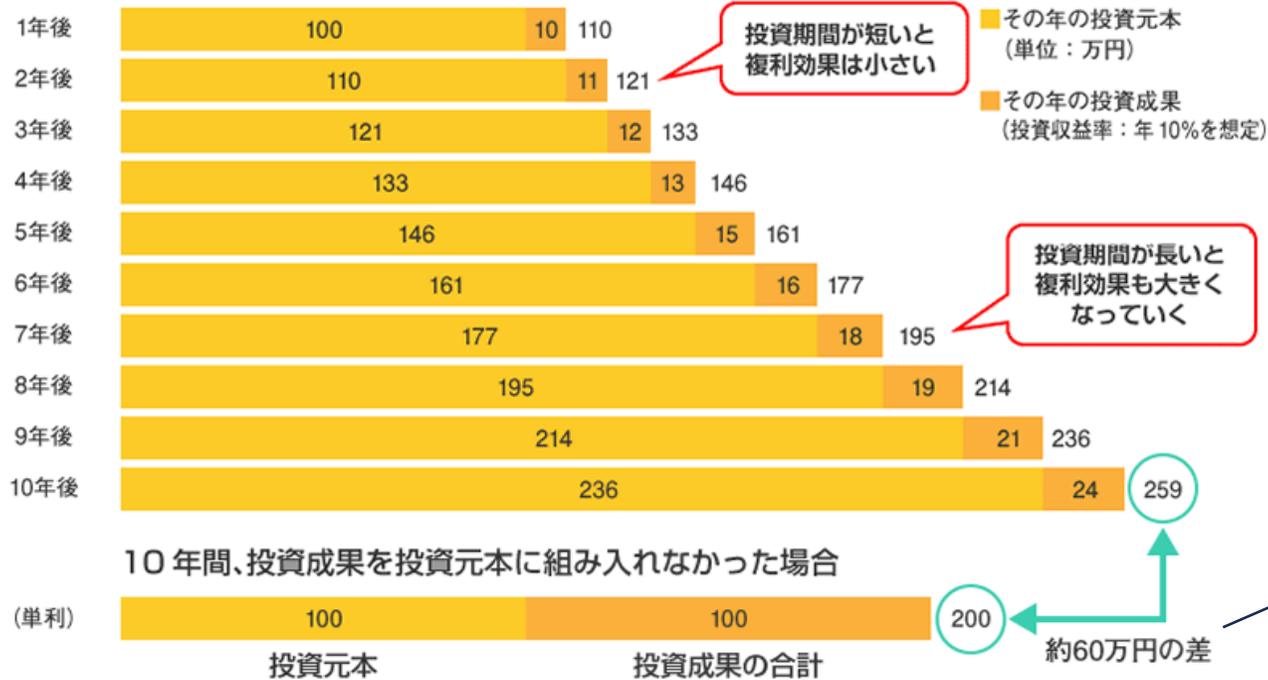
◆リーマンショックやコロナショックでも投げ売りしないことが大切。だから**資産運用は余裕資金**で行います。

複利計算って何ですか？

利息に利息がついていくことです。半年複利は半年の利息を加えて次の半年の利息を計算します。

投資期間と複利効果の関係

例：投資リターン(投資収益率)を年10%と想定した場合



◆例示は年利10%ですが、昨今、ずっと10%の運用益は不可能です。なので、この図のようになるとは思わないことです。

◆せいぜい、**3%を目標**にするとよいです。

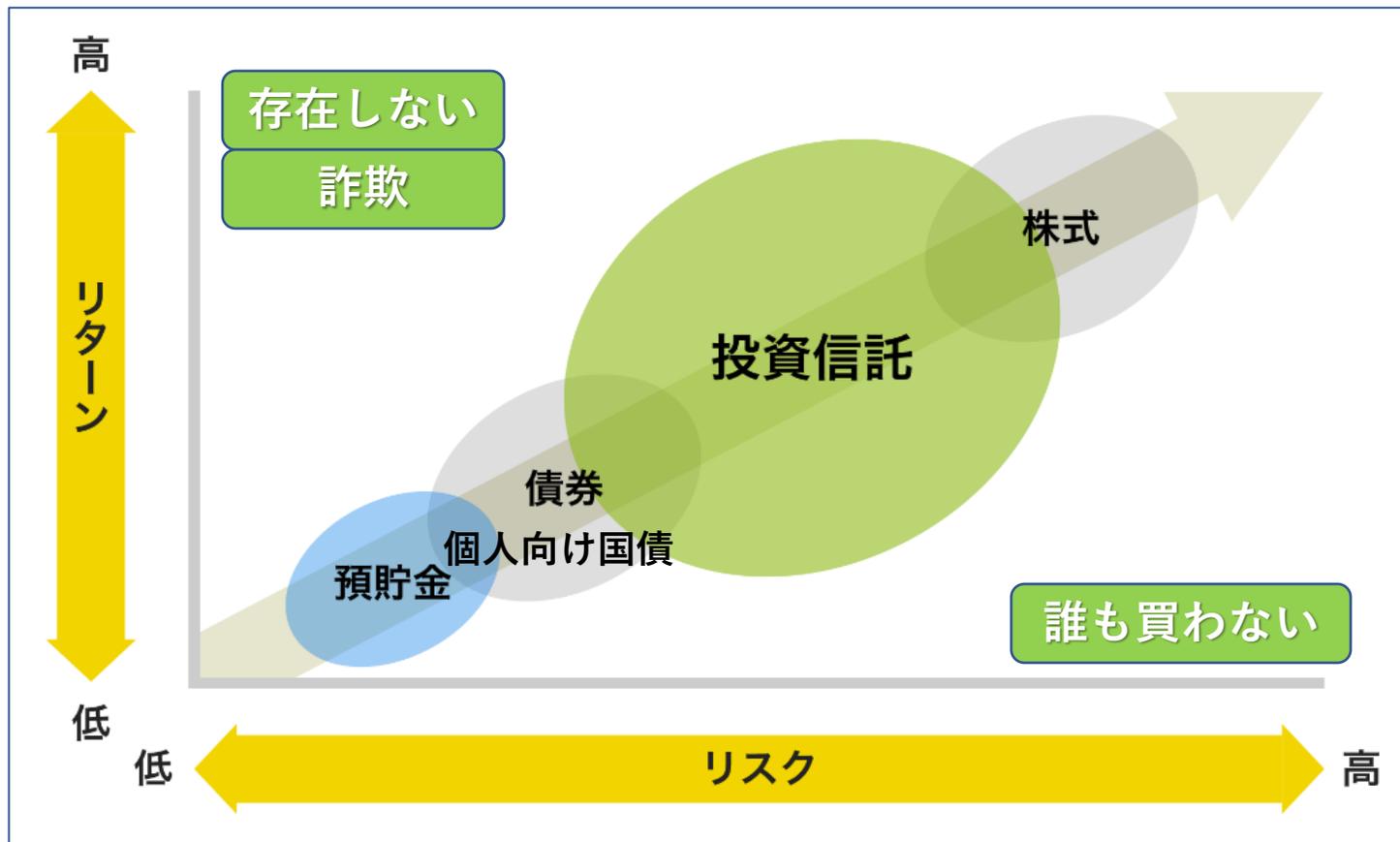
◆複利 * 時間で資産を大きく増やすことが可能です。

**複利と単利の差です。
分配金や利息を受け取らず元本に
繰り入れていきます。**

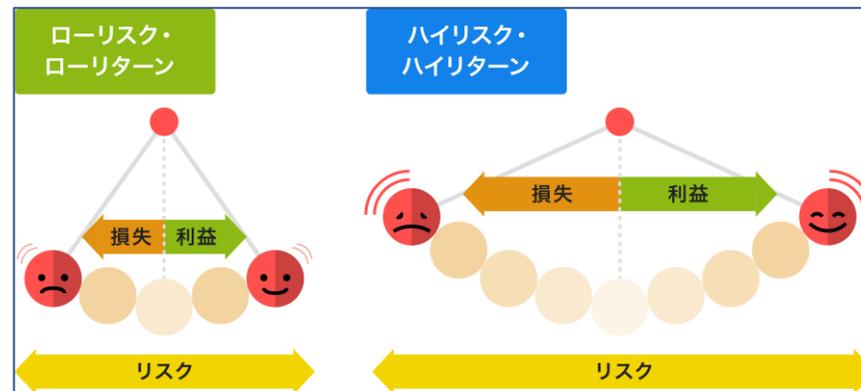
出所：金融庁HP

リスクとリターンて何ですか？

リスクは運用商品の結果が不確実なこと（値動きが大きいと不確実）と得られる利益がリターン。



出所：アセットマネジメントOne HP より筆者加筆

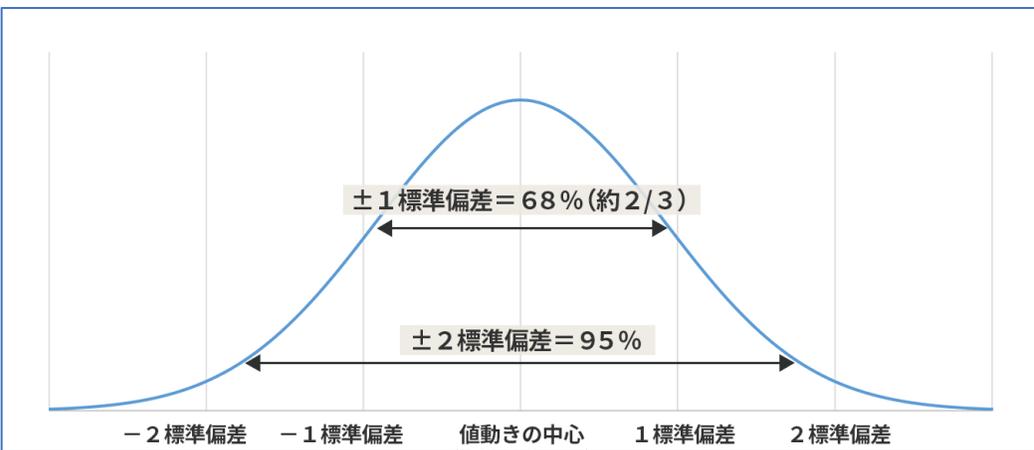


◆**ローリスク、ハイリターンの運用商品は絶対がない！！** 上手い話には騙されるな。簡単に儲かる話は詐欺です。

◆**投資信託**も組入れる資産によっていろいろなタイプがあり、リスクとリターンは大きく異なる。地域や通貨によってもリスクとリターンは大きく異なる。

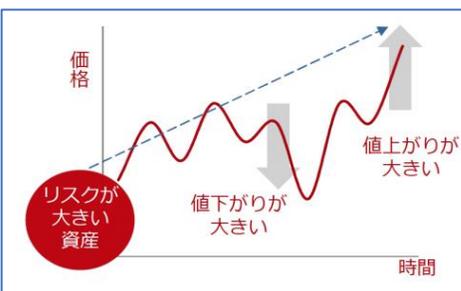
どこまで下がることを許容できるか？

期待リターンと標準偏差（リスク）でどれくらい下落（上昇）するのか理解しましょう。
下落の場合、それを許容できるかを自分で知る必要があります。



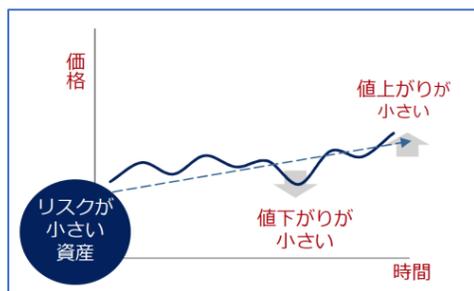
資産	A 期待リターン	B リスク(標準偏差)	A/B シャープレシオ
(1) 国内債券	0.7 %	2.56 %	0.27
(2) 外国債券	2.6 %	11.87 %	0.22
(3) 4資産均等	4.0 %	12.32 %	0.32
(4) 国内株式	5.6 %	23.14 %	0.24
(5) 外国株式	7.2 %	24.85 %	0.29

出所：年金積立金管理運用独立行政法人「2019年度 業務概況書」



出所：ピクテHP

株式



均等

債券

	確率68%				
%	←		→	%	
(1)	-4.42	-1.86	0.7	3.26	5.82
(2)	-21.14	-9.27	2.6	14.47	26.34
(3)	-20.64	-8.32	4	16.32	28.64
(4)	-40.68	-17.54	5.6	28.74	51.88
(5)	-42.5	-17.65	7.2	32.05	56.9

確率95%

国内株式は
1) 68%の確率で最大▲17%
2) 95%の確率で最大▲41%
まで下落しうる

Thinking time !

運用の基本原則を理解します。

運用の基本原則

- ・ 基本原則の3つを理解しましたか。人に説明してみましよう。
- ・ 投資の経験のない人は、なぜ投資に踏み出せないのか考えてみましよう。



自分の運用習慣

- ・ 資産運用の経験がある人は、長期、分散、積立がすべてできているか見つめてみましよう。
- ・ 実行できていない原則は何ですか。なぜできていないのか考えましよう。
無知だった、意識していなかった、忍耐が足らなかった、必要なお金を引き出してしまった。。。。

業務範囲 ～当事務所で取扱相談範囲について～

● 個人のお客様のご相談

◆ ライフプランニング

お金の将来を見えるようにします

◆ 贈与・相続支援

ご家族の誰にもご納得いただけるようなプランニングをします

◆ 任意後見・家族信託

移行型任意後見契約や家族信託の利用をご支援します

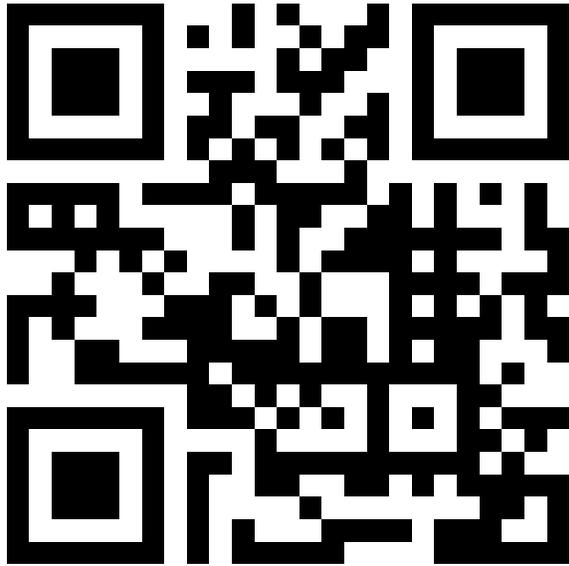
● 各種セミナー

◆ 世代別セミナー

◆ テーマ別セミナー

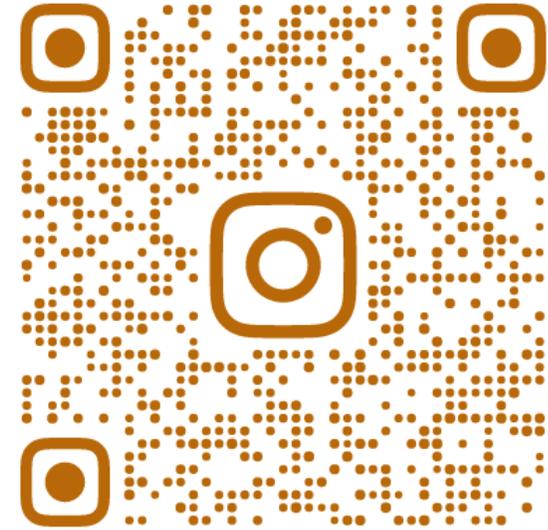
詳細はホームページとインスタをご覧ください

ホームページ



<https://www.fp-aichi-lcm.jp>

インスタグラム



@FP_YOSHISAN